

August
2009



印刷雑誌

JAPAN PRINTER

特集一 オフセット印刷の基礎と応用

- 業務改善と品質管理
- インキつぼ周辺の自動化システム
- 高精細印刷への網点再考
- 選択と集中と未来
- 印刷に+α
- 高品質を提供する
- ロールフィーダーで損紙削減
- オフセット印刷を追求



好評連載

- 新聞印刷入門
- 電子写真入門
- プリントブルエレクトロニクスとスクリーン印刷

印刷学会出版部 発行

デザインで顧客獲得を目指す

ハイデル・フォーラム 21 は5月20日、ハイデルベルグ・ジャパンで「ポストプレス研究会」を開いた。アドアーツの仲経晴社長と高田紙器製作所の高田照和社長が、デザインの面からポストプレスの付加価値について話した。また、会場に並べたパッケージデザインの見本帳、見本品を解説しながら、経費を下げるよりも技術とアイデアを磨けばデザインで売れる物が製作でき、さらにそのためには人材育成も肝心と語った。

社長に彰彦氏

モリサワ

(株)モリサワは5月に、代表取締役会長に森澤嘉昭氏が留任し、同社長に森澤彰彦氏が就任した。そのほか新任役員は、執行役員に山村泰司、田村猛、谷村淳人の各氏、監査役は森澤季公生氏。

また6月1日、大阪・敷津東の新本社ビル建築について発表した。2棟のビルに分散していた本社機能を1棟に集約し、業務の効率化を図る。建築面積561.13m²、延べ面積4788.66m²、地上9階。10月末完成予定。さらにWebサイト上で公開中の、モリサワフォントでインタラクティブに遊べ



ハイデル・フォーラム 21 特殊印刷加工の勉強会では、各社の箔押し製品見本が展示され、活発な情報交換が行われた

るコンテンツ FONTPARK 2.0 (中村勇吾氏制作) が東京インタラクティブ・アド・アワードサイト部門プロダクトサイトで金賞を受賞したと発表した。

Web 受注で販促物制作

ハイデルベルグ・ジャパン

ハイデルベルグ・ジャパン(株)(山本幸平社長)が進める「プリントバイヤープロジェクト」の28弾として、ドルチェ・マーケティング(佐藤靖子社長)とアインズ(大森七幸社長)は、Webから小部数の販促用品を注文できるサイト「**こだわりプリントコム**」を6月から始めた。利用者はA4判チラシやリーフレット、ポストカード、



ハイデル・フォーラム 21 ポストプレス研究会で講演する仲経晴氏(上)と高田照和氏(中)、ポストプレス研究会では透明インキを使用したり、開口部を工夫した物などの見本品が並んだ(下)

名刺サイズカードなどを含む用途に応じたテンプレートと、季節感に合わせた6種類の特種紙から選択し、100部単位で注文できる。デザインは委託(オプション料金)もでき、紙の材質や風合いを活かした販促用品を得られる。同製品の印刷は小部数対応に特長があるインキキーなしのオフセット印刷機で行う。

最新メーリング機器を紹介

バース・ジャパン

バース・ジャパン(株)(小林公一社長)は5月21~23日、神奈川の横浜産業貿易センタービルで内覧会を開いた。定形、定形外の和・洋封筒に対応し、大量・少量のどちらの処理もできる封入機や、最大毎時3万部が処理できる宛名ラベルシステムを実演した。また、デュプロ製カメラ検証システムや圧着機も紹介した。



モリサワ 森澤彰彦新社長(左)と森澤嘉昭会長



ハイデルベルグ・ジャパン アインズの小林剛(左)とドルチェ・マーケティングの佐藤靖子の両氏